

SACLAの全景(手前左)。奥の円形施設は大型放射光施設「スプリング8」=兵庫県佐用町光都(理化学研究所提供)



SACLAにデザイン賞

コンパクトな技術集積評価

播磨科学公園都市(兵庫県佐用町光都)にあるエックス線自由電子レーザー施設「SACLA(さくら)」が、2013年度のグッドデザイン賞(日本デザイン振興会主催)に選ばれた。

SACLAは昨年3月から研究運用を開始。エックス線を使った「巨大な顕微鏡」で、原子レベルの物質の構造、動きを観察できる。高度な観測機能を、世界の類似施設の約5分

の1というコンパクトな施設に結集した点が評価された。

SACLAはまた、審査委員会から特に高い評価を得た「グッドデザイン・ベスト10

0」にも選出された。

運営する理化学研究所放射光科学総合研究センターの石川哲也センター長は「人類の知的活動の発展に貢献できるように努力を重ねたい」とコメントした。

本年度の受賞は国内外の1212件で、県内は22件。

(松本茂祥)